

令和 3 年度 学校評価書 (計画段階・実施段階)

60

福岡県立福岡県立糸島農業高等学校

自己評価
学校運営計画(4月)
学校運営方針
昨年度の成果と課題
年度重点目標
具体的目標
【成果】
○授業規律に対する全職員の共通理解を図る。
○中学校・教員向け学校説明会を実施した新たな広報活動。
○自主的な生徒会活動による学校行事の活性化。
○進学・就職への進路実現に向けた効果的な取組。
【課題】
○定員割れを起こさない、魅力ある学校づくりの取組。
○教師・生徒の危機管理に対する意識の向上への取組。
○国公立大学への進学実現のための取組の計画的な実施。
○効果的な広報活動による地域との連携・協力体制の推進。

学校関係者評価
自己評価は
A: 適切である
B: 概ね適切である
C: やや適切である
D: 不適切である
項目ごとの評価
学校関係者評価委員会からの意見
○新学科のPRのためにも、全職員の共通認識のもと生徒を主体とした、さらに魅力ある授業展開を期待している。また、学んだ知識・技術の習得と活用に向け、家庭での学習習慣確立についても一層の指導をしていただき
○大変落ち着いた雰囲気、今後も髪型・服装、挨拶などは生徒指導の基礎・基本でもあるので、今後も生徒が自発的に取り組むよう指導をしてもらいたい。来客に対してもさらに高めていただきたい。部下のさらなる活性化
○進路指導を1年次からしていたら大変良いと思う。進路情報の早期開示に努め、生徒の第一希望進路をかなえることができるよう、進路保障の在り方について今後も改善と充実にも努めてもらいたい。
○校内にゴミなどが全く落ちて無く、非常にきれいな環境が保たれている。コロナウイルス感染拡大防止対策についても慎重に対応されていてよいと思う。
○コロナ禍で学校行事が縮小し、生徒が充実できない点もあり残念に思いますが、代替案など努力して進められている。今後も生徒の有意義な学校生活のために、できる限りの工夫をお願いいたします。
○生徒への教育を止めないためにもオンライン授業など、さらに研修を積み重ねられ、コロナ等にも即時対応できる学習環境の整備をお願いしたい。校外での研修も先生方の資質向上に大きく役立つと思うので積極的に参加
○今後さらに興味をひくような広報の在り方を考えていただきたい。ホームページは勿論、インスタグラムを利用した時代に合った広報の在り方を今後さらに検討され来年度実現していただきたい。

農 務	・新学習指導要領や学科再編を見据え、準備室を立ち上げ、対応を加速し、特徴ある学科としていく。	・農業科職員の準備室の割当及びスケジュールを提示する。	B	B	B	新学科の教育内容を職員全体で共有できるように具体的なロードマップを作成し共通認識をもつ。また、新学科の担当者による会議を充実させ学科運営に必要な施設等の設置について検討していく。	B	○地域資源に係る新しい学科を立ち上げられ、今後さらに農林水産において糸島の魅力を発信する基地として、糸島農業高校ブランドを構築していただきたい。
		・科目の運用と施設の充実計画を作成する。	C					
	・農業教育におけるICT化の取組と地域と連携した活動を強化する。	・ネット環境の活用も含めたICTを活用した農業教材を充実する。	B	B				
		・地域の特産物を活用した官・民・学の連携プロジェクトを展開する。	B					
人権・同和教育	・各学年のテーマに基づき、個別の人権課題を取り上げながら人権学習を進め、本校における人権・同和教育の推進を図る。	・毎月1回、人権・同和教育・生徒支援委員会を開催する。	A	A	A	人権教育の土台となる同和問題の理解について、生徒間での知識や理解度の差をどのように埋めて、新しい情報を提供していくのかを、丁寧に計画し取組む必要がある。	A	○大変難しいデリケートな問題ですが、生徒の自立に向けた支援となるよう、教員全体の情報共有を今後も大切にしてもらいたい。
		・身近の人権課題、同和問題、進路保障へと学びを進める。	A					
	・本人の責任ではない理由で修学が困難な生徒を支援するために、人権意識に基づいた学校全体での組織的な支援を行う。	・定期的にSCからの助言を受けながら生徒支援を実行する。	A	A				
		・前期、後期の2回、生徒情報の共有を全職員で実施する。	A					
第1学年	・基本的生活習慣の徹底を図る。	・毎朝のSHRや授業等において、挨拶・机上の整理整頓等の指導を根気強く行う。	A	A	B	各学級担任が保護者と関わる場面が多く、家庭と連携しながら生徒の指導にあたることができた。教室の整理状況も良いので、学年が上がって崩れないようにする。	B	○専門高校なので入学する時点で自分の将来をすでに見据えている生徒が数多くいると思いますので、就職や進学の情報を早い段階から提供し、生徒の進路意識の向上にさらにつなげていただきたい。
		・生徒とのコミュニケーションだけでなく、保護者と密に連絡を取り合い信頼関係を築き、個に応じた指導を行う。	A					
	・学習意欲を喚起するために授業・HR活動を充実させる。	・各教科における学び直し、授業内容の復習を中心とした自学ノートでの家庭学習などにより基礎学力を身に付けさせる。	B	B				
		・専門教科を中心とした「知」のクラスマッチなど、学習に対する興味を惹くことのできる活動を行う。	B					
第2学年	・挨拶、人の話を聞く態度を身につけさせる。	・学年集会等で挨拶や集合時に静かに待機できるように繰り返し指導する。	A	B	B	話を聴く姿勢は一部の生徒を除いてよくなっているが、うなずきや話し手の問いかけに応じるなど熱心に聴こうとする気持ちが不十分であるため、来年度も継続して指導する。	B	○色々な取組により、生徒の可能性を引き出していたいているようですが、今後も継続して少しでも学力や社会性を高めていただき、進路実現につなげられるよう指導していただきたい。
		・授業で正しい姿勢、うなずきや、応答ができるように指導する。	B					
	・学力と進路意識の向上を目指す。	・自学ノートを継続し、学習習慣の定着を図る。ゼロトレに就職問題を取り入れ、進路意識を高める。	B	B				
		・個人面談、三者面談を活用し、進路について話し合う機会を設け、進路意識を高める。	A					
第3学年	・学校教育活動全般の指導の見直しを図り、進路意識の向上を図る。	・挨拶や授業、掃除への取り組みなどHRや学年集会等で根気強く指導することで学校生活全般に渡って意識を高めて取り組ませる。	C	B	B	生徒自身の場面に応じた挨拶ができなかった。掃除への取り組みも自ら積極的に行うように指導できなかった。朝トレはSPIのテキスト、読書、マナー学習など充実した時間になった。	B	○進路に向けて今後も様々な取組を検討していただき、進路実現に向けて主体的に生徒が進められるような意識づくりを行っていただきたい。
		・朝トレやHR、総探の時間に取り組んだ内容を繰り返し行わせることで、基礎学力の向上を図る。	B					
	・希望進路の実現に向け、小論文・面接指導の充実を図る。	・小論文指導において、体育祭など様々な行事でも感想文を書かせるなど指導の充実を図る。	C	B				
		・面接指導において、学年と学科が連携し、役割を分担することで面接指導の充実を図る。	B					
事務室	・適切な会計処理とコロナ対策の充実を図る。	・会計処理について法令遵守を徹底するとともに、節減を実施し、限られた予算の効率的な執行を行う。	B	B	B	引き続き、適切な会計処理とコロナ対策実施を図る。	B	○学校の教育活動の遂行には事務室の理解と協力が不可欠なので、今後も協力・連携して学校の発展に尽力をお願いしたい。
		・教員と連携し、新型コロナウイルス感染症防止のための対策を適切に実施する。	B					
	・農場管理の充実及び発展を目指す。	・学校での生産物販売において、厳密な法令遵守の手続きを行う。	B	B				
		・教員と連携し、予算の効率的な執行を行い、農場管理の充実を図る。	B					

自己評価及び学校関係者評価を踏まえた今後の改善策

<ul style="list-style-type: none"> ・生徒一人ひとりの第一希望進路実現に向け、基礎・基本的学方向上の取組を組織的・計画的に進める。 ・基礎・基本的な生活習慣や学習習慣の確立と定着に向け、保護者と協力して全職員で取り組む。 ・農業高校としての各学科の特色化に努めることで、魅力ある学校とする。また、学校広報活動の充実により、生徒募集につなげる。

評価項目以外のものに関する意見
コロナ禍の状況ではありますが、いつも生徒の学びの保証を最優先に考えて頂いており、今後も全職員で安心して学べる学校づくりに邁進して頂きたいと思います。